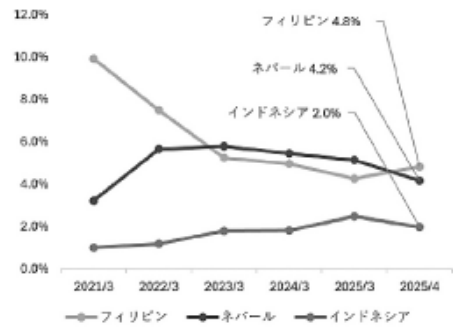
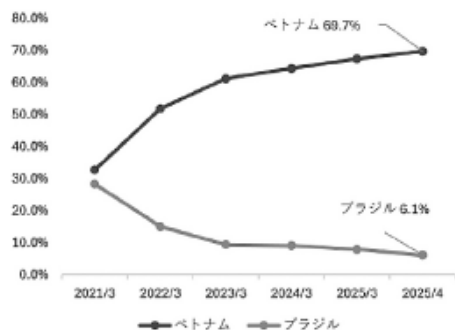


「ビレッジハウス 外国人の住まい探し対応 5 カ国語に支援強化」



ビレッジハウス外国人新規契約者の国籍別割合の推移

外国人の住まい探し対応  
ビレッジハウス 5 カ国語に支援強化  
ビレッジハウス・マネ 岩元龍彦社長は、出身  
ジメント（東京都港区、もさまさまな外国人の賃  
貸住宅入居・  
契約・暮らし  
の問い合わせ  
を母国語で支  
援できるよ  
う、多言語対  
応にネパール  
語、インドネ  
シア語を追  
加、サポート  
を開始した。  
従来のボル  
トガル語、英  
語、ベトナム  
語に加えるこ  
とで体制を強  
化する。今秋  
にはミャンマ  
1 語対応も開  
始する予定  
だ。  
直近 1 年  
間に個人新  
規契約者で  
は、約 38%を  
とどした。

外国人が占めているとい  
う。  
今回は既存のネパール  
人社員と、6 月入社の人  
インドネシア人社員 2 人を  
チームに加え、計 5 カ国  
語 26 人に対応していくこ  
ととした。言語はもちろ  
ん母国文化を理解したス  
タッフが支援することで  
入居者に寄り添った対応  
を実現させていく。  
出入国在留管理庁の調  
査によると、昨年末時点  
での在留外国人は約 37  
6 万人と過去最多にな  
り、国籍別ではベトナム  
が 63 万人、ネパール 23 万  
人、インドネシア 20 万人、  
ミャンマー 13 万人だっ  
た。いずれも前年の 23 年  
末に比べ、5 万人以上増  
えている。今年 4 月末時  
点での同社の外国人新規  
個人契約者では、ネパ  
ール人は 4・2%、インド  
ネシア人は 2%を占め、  
今後も需要の伸びが見込  
まれることから同 2 言語  
のサポートを開始するこ  
ととした。